

## 中央大学タイ・オフィス設置

### ハワイに続く海外拠点

タイ・バンコク市のタマサート大学に設置された「中央大学・タマサート大学コラボレーションセンター(中央大学タイ・オフィス)」の開所式が3月21日に行われた。当日はレセプション、シンポジウムが相次いで開催された。

昨年12月にタマサート大学法学部と中大との間でオフィス設置の契

約を結んでいた。この拠点を活用して、タイやASEAN(東南アジア諸国連合)地域における教育、研究、社会貢献活動などがますます活発化されると見込まれている。

中大の海外拠点は2013年12月にハワイ大学マノア校に続く第2号。中大は国際連携推進の重点となる地域・国を「環太平洋地域」として、組



中央大学タイ・オフィスの前で行われたリボンカット。酒井正三郎総長・学長(左)とタマサート大学のソムキット学長

織体制、教育基盤、国内外のネットワークなど各分野の整備に力を注いでいる。

## 2季ぶりリーグ優勝 優勝決定戦で日大倒す

### 中大準硬式野球部 8月の全日本へ弾み

#### 春季リーグ戦、最終順位

1位	中大
2位	日大
3位	国士舘大
4位	東海大
5位	専大
6位	国学院大

準硬式野球の東都大学春季リーグは5月19日、中央大学がライバル日大との優勝決定戦を12-6で制し、2シーズンぶりの優勝を遂げた。予選会を勝ち上って出場権を得た全日本大学選手権(8月、金沢市)連覇へ弾みをつけた。



勝ったチームが優勝という大一番

を制したのは中大だった。最終成績は10勝2敗、勝ち点5、勝率・833。昨秋覇者・日大の連覇を1勝差で阻んだ。

最優秀選手賞に原田大輝内野手(商3)、最優秀投手賞に木下愛(いと)投手(商2)がそれぞれ選ばれた。

大学日本一を争う全日本は8月19日に金沢市で開幕する。最近10年間で中大の優勝は5回。去年は延長11回にサヨナラ本塁打で決着した。

## 中スポ? ヘンプヒル恵旋風

### 中大スポーツ 過去最大の発行部数

#### 曾根田智明編集長、舞台裏を語る

「400字詰め1枚ほどの原稿で、1週間あれば書けるでしょう」。湯呑を片手に中大広報室の久保田さん。笑顔だ。正直、驚いた。なるほど、自分たちの仕事でも、記事のネタになる。

2万6000部。ことし4月、中大スポーツ新聞は、学内メディアとしては最大の部数を発行した。3000部

は増刷によるもの。輪転機を回せば、10万円単位で金が飛ぶ。安易な増刷は命取りだが、1面に掲載された陸上競技女子七種競技高校総体チャンピオン、ヘンプヒル恵選手(文1)の人気も考え、勝算ありと見込んだ。

「やらないで後悔するなら、やって後悔しろ」。増刷するか迷っていた折り、先輩の言葉に背中を押された。背水の陣。「もし今後号外を出

すことになったら」「また増刷が必要になったら」。先のことは、考えないことにした。

イチかバチかで増刷をした4月号。反響は大きかった。賭けごとはお手ものだ!? なにせ箱根駅伝の展望記事では、中大を含む全出場チームを競馬新聞のような「馬柱」を建てて予想する。1月号の1面コラムには、こう載っていた。〈乾坤一擲の新聞〉。これからも、中大スポーツはアクセル全開だ。

(中スポ編集長 曾根田智明)